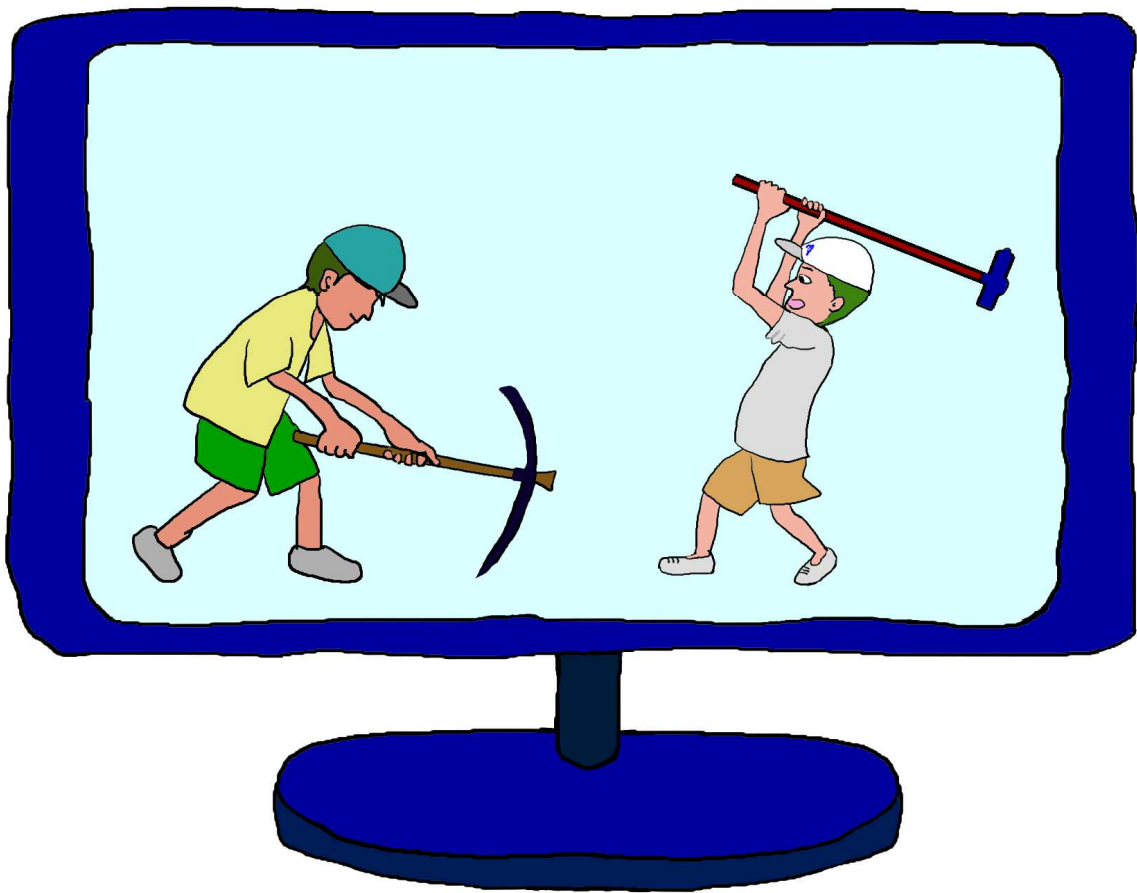


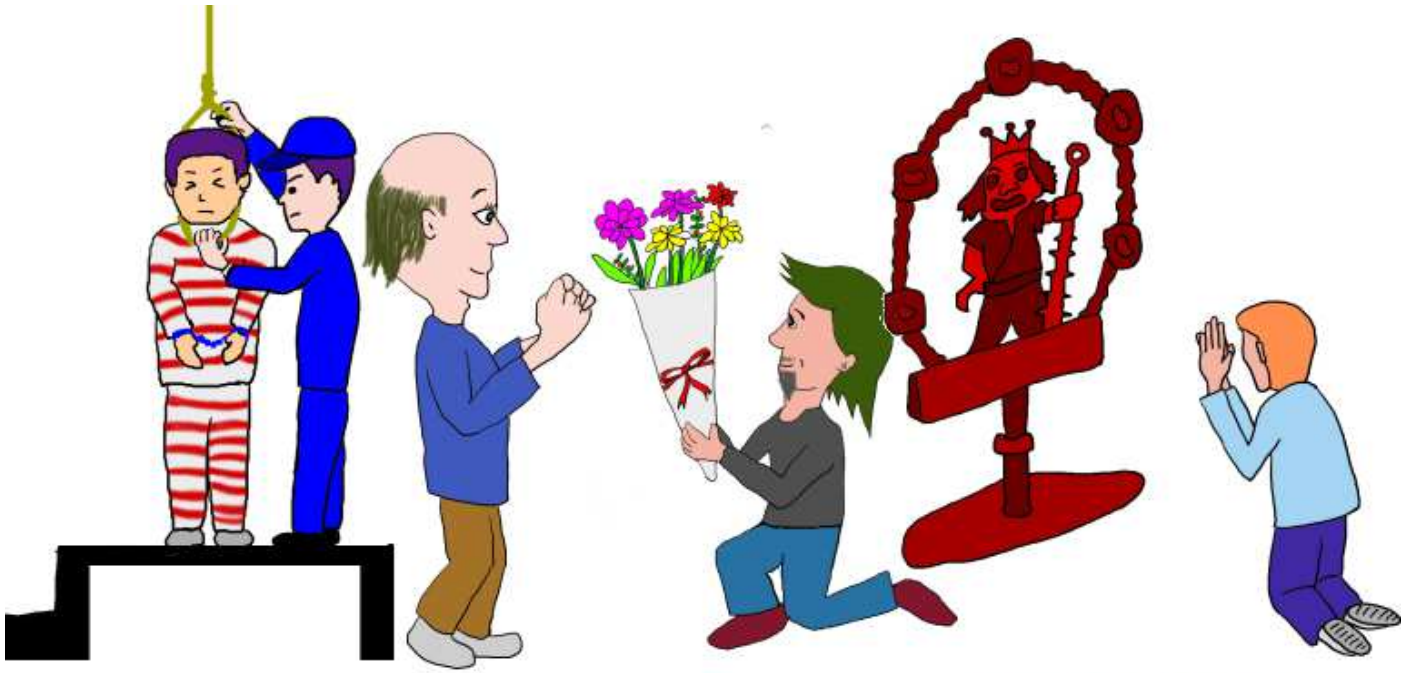
悪いには、悪い



東郷 潤

場所や時代が変わると、ルールも習慣も違います。

ある国で悪いと言われていることを、別の国の人たちは、普通にしていたりするものです。



死刑

同性愛

偶像崇拜

**中絶 拷問 マリファナ 売春 幼児ポ
ルノ 検閲 宗教弾圧 差別 不倫 権
力の世襲 一党独裁 神権主義 資本主
義 共産主義 犬を食べる 鯨を食べる
豚を食べる 牛を食べる・・・¹**

¹ 同性愛、死刑制度、偶像崇拜、その他の善悪について一切、この絵本で主張しているわけではありません。

この国では
子供も働かなければいけません



あれ？ 悪いことをしているよ。
この国の人たちって悪人なんだ

別に深く考えたわけではありません。
悪いことを悪いと言っただけです。²

² 子供の労働の善悪について、一切、この絵本で主張しているわけではありません。

善悪の教えと暗示効果で、テレビで見た国と自分の国が戦争を始めました。



数え切れない人々が傷つき、命を落としました。戦争は、とても悲惨なものでした。

さてその後、戦争になってしまった原因を大勢の偉い人たちが分析しています。でも・・・、中にはちょっと的外れなものも、あるようです。



どっちが悪くて、戦争が起きたんだろう？

本当に悪いのは、誰なんだ？

あとがき 絵本「悪いことは、悪い」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、お友達なりにご紹介して頂ければと存じます。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本をダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2011